

R8年度 サードレベル講義計画

教科目	学習目標	単元	教育内容	時間	評価者	講師名(敬称略)	所属
ヘルスケアシステム論Ⅲ (30時間)	1. 社会保障制度・政策の動向について理解できる。 2. 医療提供体制と財政的仕組みについて、経営の視点をもった管理が実践できる。 3. ヘルスケアサービスを踏まえた組織の機能や役割を分析し、新たなヘルスケアサービスの創造に取り組むことができる。	社会保障制度・政策の動向	・社会保障の将来ビジョン ・グローバルな視点から見た保健医療福祉 WHOの活動、国連SDGs等	6		宮山 徳司	元埼玉県職員 元保健医療部
		看護制度・政策の動向	・看護制度の変遷と政策 ・看護政策に関する審議会・検討会 ・制度変化に伴う看護管理への影響と対応 ・看護戦略とパワーの活用 ・職能団体による政策への影響力	6		高橋 弘枝	学校法人大手前学園 大手前大学 国際看護学部大学院国際看護学研究科
		ヘルスケアサービスの創造	・ヘルスケアサービスのマーケティング ・社会的企業(ソーシャルエンタープライズ) ・NGO、NPOのヘルスケアサービス	6		北浦 暁子	学校法人文理佐藤学園 西武文理大学看護学部 看護コンサルティングファーム NKN
			・地域連携を基盤としたヘルスケアサービス ・在宅におけるヘルスケアサービス ・ヘルスケアサービスのシステム構築	6		齋藤 訓子	一般社団法人 全国訪問看護事業協会
			・看護事業の開発と起業 ・テクノロジーの活用	6	○	工藤 潤	Office.21
組織管理論Ⅲ (30時間)	1. 看護の組織化を図るための諸理論を理解することができる。 2. 管理者として組織運営に必要な能力やパワーの活用ができる。 3. 組織における倫理的課題解決を学び、看護管理者としての組織的対応を考えることができる。	組織デザインと組織運営	・組織のデザイン ・組織間ネットワークのデザイン ・地域連携ネットワークのデザイン	6	○	中島 美津子	学校法人青葉学園 東京医療保健大学東が丘看護学部 大学院看護研究科
			・ダイバーシティ	6		坂本 すが	学校法人青葉学園 東京医療保健大学
			・組織運営に必要な能力 ・経営者に求められる役割と必要な能力 ・組織戦略とパワーの活用 ・経営者としての成長と熟練	12		大島 敏子	フリージアナースの会 NPO法人 看護職キャリアサポート
		組織における倫理	・組織における倫理的課題 ・倫理的課題に対する組織的対応	6		長坂 奎英	学校法人東京農業大学 東京情報大学 看護学部
人材管理Ⅲ (15時間)	1. 組織の中の人材を効率的・効果的に活用することができる。 2. 組織の人材フローマネジメントについて理解し、実践することができる。 3. 次世代の看護管理者を育成するための育成計画が立案できる。	社会システムと労務管理	・人事考課 ・能力評価のためのシステムの構築	3		小野寺 亘	学校法人埼玉医科大学 医学部 医療政策学
			・賃金制度 ・労働関係法規の最新の動向 ・建設的な労使関係の構築 ・ハラスメントの組織的対応	6		福島 通子	福島通子社会保険労務士事務所
			・人材フローのマネジメント	6	○	岩満 裕子	学校法人青葉学園 東京医療保健大学 医療保健学部 臨床工学専攻
		看護管理者の育成	・看護管理者の能力開発、活用	6			
資源管理Ⅲ (30時間)	1. 経営資源の効果的活用に向けた具体的な対応策を考えることができる。 2. 経営者あるいはその一員として経営管理の視点に立ったマネジメントが実践できる。 3. 情報管理について理解し、経営の視点を持った管理が実践できる。	経営戦略	・医療経営の特徴と課題 ・医療施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション等の経営の特徴と課題	6	○	工藤 潤	Office.21
			・戦略策定	12		渡邊 尚之	株式会社 渡邊経営
		財務管理	・財務会計 ・管理会計 ・資金管理	6		外井 浩志	外井(TOI)法律事務所
		組織的情報管理	・関連法規の遵守 ・地域における情報共有・活用	6		佐藤 直子	学校法人 聖路加国際大学 大学院看護学研究科
質管理Ⅲ (30時間)	1. 医療・看護の質保証に向けた組織の管理体制について理解し、実践できる。 2. 将来起こりうる危機に備えた組織的対応を立案することができる。	経営と質管理	・ガバナンスとアカウンタビリティ	6		秋山 智弥	公益社団法人 日本看護協会
			・医療・看護の質とデータ活用	6	○	浅香 えみ子	公益社団法人 日本看護協会
			・第三者評価	6		遠田 光子	公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部
		組織の安全管理	・安全文化の醸成 ・医療事故防止のための組織的対策 ・危機管理(災害管理含む)	6		佐々木 久美子	社会医療法人社団正志会 本部
統合演習Ⅲ (45時間)	1. 教科目で学習した内容を統合し、自組織の看護管理実践に活用することができる。	演習	・学習内容を踏まえ、受講者自身が演習内容を企画し実施する。 例1: 自組織について分析し、組織の改善計画を立案する。または、トップとして組織を分析し改善計画を立案する。 例2: 保健医療福祉組織や看護の現状について、保健医療福祉に関する統計データを分析し、保健医療福祉サービス提供体制の改革ビジョンを策定する。 例3: 保健医療福祉に関する政策提言を行う。	38	グループ担当者	佐藤 美香子 中田 尚子 福島 俊江 山崎 みつ江 池田 光子 宮崎 祐子	医療法人三和会 東鷲宮病院 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 日本赤十字社 小川赤十字病院 学校法人埼玉医科大学 総合医療センター 医療法人善淳会 小川産婦人科・小児科
		実習	・経営の実際を学ぶための実習を受講者自身が企画し実施する。シャドウイング等	9		施設担当者・専任教員	